



ミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

〒124-0012

東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル

TEL : 03-3694-6091 FAX : 03-3691-6680

令和2年度の現金給与総額、8年ぶりの減少～厚生労働省

従業員5人以上の事業所の令和2年度の一人平均現金給与総額は、前年度比1.5%減の31万8081円で8年ぶりの減少となったことが、厚生労働省が公表した「毎月勤労統計調査」結果確報で分かりました。給与総額のうち、基本給に当たる所定内給与は0.2%増の24万5258円で6年連続増加しましたが、残業代などの所定外給与は13.3%減の1万7028円で2年連続の減少、賞与など特別に支払われた給与も4.3%減の5万5795円で2年連続の減少となりました。

この結果、所定内給与と所定外給与を合計した、月毎にきまって支給する給与は、前年度比0.8%減の26万2286円で7年ぶりの減少となりました。現金給与総額を就業形態別にみますと、一般労働者は1.9%減の41万6570円、パートタイム労働者は0.9%減の9万9083円でした。なお、物価の変動分を計算に入れた実質賃金指数（現金給与総額）では、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）が0.3%減でしたが、現金給与総額は1.2%減と2年連続で減少しました。

また、令和2年度の一人平均総実労働時間は、前年度比3.0%減の134.6時間で9年連続の減少となり、内訳は、所定内労働時間が2.1%減の125.6時間で9年連続の減少、所定外労働時間は13.9%減の9.0時間で3年連続の減少でした。景気との連動性が高い製造業の所定外労働時間（季節調整済指数、前月比）は19.8%減で3年連続の減少、就業形態別にみますと、一般労働者は2.9%減の159.8時間、パートタイム労働者は5.1%減の78.6時間となりました。

一方、令和2年度の常用労働者数は、前年度比0.7%増の5138万2千人となり、17年連続の増加、就業形態別にみると、正社員などの一般労働者は1.4%増の3544万7千人で7年連続の増加となりましたが、パートタイム労働者は0.9%減の1593万5千人で15年ぶりの減少に転じました。主な産業についてみると、「製造業」は0.1%減、「卸売業、小売業」は0.4%増、「医療、福祉」は1.6%増となりました。

* 詳細はこちらからご確認いただけます。

「毎月勤労統計調査 令和2年度分結果確報」（厚生労働省）令和3年5月28日公開

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/monthly/r02/20fr/mk02fr.html>